



SESERAGI—MISHIMA
ROTARY CLUB
WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2014～2015年度 RI会長 ゲイリー C. K. ホアン
RIテーマ ロータリーに輝きを

クラブテーマ「感謝の心で出席しよう」会長 矢岸貞夫

副会長 鈴木政則 幹事 小林 勝

第1233回 例会
2015.6. 12(金)曇

司会:岡 良森君 指揮:山口辰哉君
ロータリーソング「我等の生業」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央町ビル2F
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 ブケ東海三島
TEL.055-984-0120
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 矢岸貞夫君

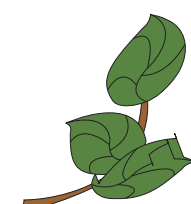
皆さんこんにちは、本日は静岡第2分区小野ガバナー補佐と芹沢事務局が今年度最後の公式訪問で、我がクラブにゲストとして挨拶にみえました。ガバナー補佐の話の中に第2分区は、7クラブあり、各クラブ年4回、計28回訪問され、残すところあと3クラブで、全てが終了するそうです。小野ガバナー補佐の、年度に向けて補佐の責務としまして、岡本ガバナーの「地区運営方針」「地区目標」を各クラブにご理解を頂くためには、地区の方針とクラブ間の温度差を埋める事と言っておりました。私もクラブの会長として小野ガバナー補佐に助けられてここまでやってこられました事に感謝申し上げます。また、ガバナーを事務局として手助けされた芹沢さんにも感謝とお礼を申し上げます。

今、ネット悪用、情報を盗むサイバー攻撃が世間を騒がせています。新聞記事にのってましたので紹介します。年金を支払う仕事をする組織のコンピューターがサイバー攻撃され、大勢の名前などがもれてしまいました。サイバー攻撃は、何者かがインターネットなどを悪用し、役所や会社のコンピューターに入っている大事な情報を盗んだり、書き換えて混乱させたりすることです。世界中で起きていて、日本でも大会社や政府の情報が狙われた事があります。もし攻撃で発電所や交通が止められると、大変な騒ぎになる心配もあり、対策のため法律が出来ました。サイバー攻撃で多いのは、コンピューターを思い通りに動かすウイルスを電子メールに入れ、狙う相手のパソコンにおくり、コンピューターから情報が漏れるようにするといったやり方です。便利なコンピューターも、使い方によって混乱の元になります。少しでもおかしいと感じたらメールを開かないなど、日頃の注意が必要です。パソコンも非常に便利ですが、一歩間違えば情報がもれ大変な事になります。私はパソコンの事は余り解りませんが使用される方は、充分気をつけて使用して下さい。

ようこそせせらぎ三島
ロータリークラブへ

小野 靖ガバナー補佐・裾野RC)

芹澤 豊君(ガバナー補佐事務局・裾野RC)



出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	22/35	62.86%	29/35	82.86%
今回	29/37	78.38%	会員総数	38名

欠席者

あなたが見えなくて残念でした。

勝又君、小島君、杉山(隆)君、土屋君、仲原君、原君、望月君、山口(雅)君



スマイルボックス

杉山順一君:鮎を太田先生にもらいました。八景園からイロリをもらいました。イロリで鮎の塩焼きをします。小さいのはフライで食べました。最高です。またください。お願いします。今日卓話です。

山田定男君:本日、杉山順一君の卓話を楽しみにしていましたが、急用が入ってしまいました。残念です。スマイル&ペナルティをいたします。今年度も残りわずかとなりました。よろしく願います。

篠木喜世君:みなさまのお話をいつも楽しくうかがっておりますが、本日は残念ながら早退させていただきます。

卓話

「世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ」 杉山順一君

前略…

わたしたちあわれな人類は、どんな未来を選ぶべきなのでしょう。世界の代表者が心ひとつに話し合おうとしています。この姿はこのままではいけない、何とかしないと、みんなが強く思っていることの表れです。しかしながら、声を大にしていくつか質問することをおゆるください。きょうの午後ここでずっと話されていたことは、人類がこのさき、地球の自然と調和をしながら生きていくにはどうしたらよいか、そして世界から貧しさをなくすにはどうしたらよいかということでした。しかしいっぽうで、わたしたちの頭には何がうかんでいよう。もっと豊かになって、ほしいものがどんどん手に入る、裕福な社会を望んでいるのではないのでしょうか？

略…70億や80億の人類が、いままでぜいたくの限りをつくしてきた西洋社会と同じように、ものを買ったり、無駄使いしたりできると思いますか。その原料が、いまのこの世界にあるとおもいますか。

略…いまの文明は、わたしたちがつくったものです。わたしたちは、もっと便利でもっとよいものを手に入れようと、さまざまなものをつくってきました。おかげで、世の中はおどろくほど発展しました。しかしそれによって、ものをたくさんつくって売ってお金をもうけ、もうけたお金でほしいものを買って、さらにもっとたくさんほしくなってもっと手に入れようとする、そんな社会を生み出しました。いまや、ものを売り買いする場所は世界に広がりました。わたしたちは、できるだけ安くつくって、できるだけ高く売するために、どの国のどの人々を利用したらいいだろうかと、世界を眺めるようになりました。そんなしくみを、わたしたちはうまく使いこなしているのでしょうか。それとも、そんなしくみにおどらされているのでしょうか。人はより豊かになるために、情けようしゃのない競争をくりひろげる世界にしながら、「心をひとつに、みんないっしょに」などという話ができるのでしょうか。だれもが持っているはずの、家族や友人や他人を思いやる気持ちは、どこにいつってしまったのでしょうか。こんな会議をしても無駄だと言いたいものではありません。むしろその反対です。わたしたちが挑戦しなくてはならない壁は、とてつもなく巨大です。目の前にある危機は地球環境の危機ではなく、わたしたちの生き方の危機です。人間は、今や自分たちが生きるためにつくった仕組みをうまくつかいこなすことができず、むしろその仕組みによって危機におちいったのです。

人の命についてはどうでしょうか。素直に考えてみましょう。わたしたちは発展するためにこの世に生まれて来たのではありません。この惑星に、幸せになろうと思って生まれてきたのです。人生は短く、あっというまです。そして、命よりも大切なものはありません。命は基本的なものです。しかし、必要以上にものを手に入れようと働きつめに働いたために、早々に命がつかってしまったら？あくことなくものを手に入れ、ものを作り続けることが、今の社会を動かしています。もしこの動きがストップしたら、明らかにお金の流れはストップします。お金の流れがストップしたら、不景気という妖怪がひとりひとりをおそうでしょう。しかし世界をおそっているのは、じつは欲深さの妖怪なのです。この欲深さを満足させるためには、悪いものをつくらなくてはなりません。たくさん売らなくてはならないからです。…略

さっきからわたしが、「生き方が危機におちいつている」と言っているのは、こうしたことです。いままでとは違った文明をつくるために、戦い始める必要があるのです。人類が洞穴に住んでいた時代の生活にもどろう、と提案しているものではありません。時代を逆戻りさせる道具をもとと言っているものでもありません。そうではなくて、いまの生き方をずるずる続けてはいけない、もっとよい生き方をみつけないとけないと言いたいのです。わたしたちの生き方がこのままでよいか、考え直さなければいけない。そう言いたいのです。

古代の賢人エピクロスやセネカ、そしてアイマラ民族は、つぎのように言いました。「貧乏とは、少ししか持っていないことではなく、かぎりなく多くを必要とし、もっともっとほしがることである」この言葉は、人間にとって何が大切かを教えています。わたしは、この会議で皆さんが努力し、意見をまとめようとしておられることに敬意を表したいと思っています。でも、いまお話したことのいくつかに、皆さんには頭にくるでしょう。しかし、しらなくてはなりません。水不足や環境の悪化が、いまある危機の原因ではないのです。ほんとうの原因は、わたしたちがめざしてきた幸せの中身にあるのです。見直さなくてはならないのは、わたしたち自身の生き方なのです。…略

むかしわが国の労働者は、長い時間働かされていました。しかし8時間働けば良いと認めさせるため、国や社会を相手に懸命戦いました。そしていま6時間働くだけでよいことになりました。しかし、6時間働いている人は、もう一つの仕事しています。つまり前よりも働いているというわけです。それはなぜでしょうか。なぜなら、買った品物のローンを払わないといけないからです。買ったバイクや買った車のローンを、払って、払って、払って、気が付けば私のようなリウマチ持ちの老人になり、人生が終わっていくのです。そしてひとりがこんなといかけをするでしょう。「これが人生のたどり着いた先なにか」と。

わたしが話していることは、とてもシンプルなことです。社会が発展することが、幸福をそこなうものであってはなりません。発展とは、人間の幸せの味方でなくてはならないのです。

- 人と人が幸せな関係を結ぶこと、
- 子供を育てること、
- 友人をもつこと、
- 地球上に愛があること—

こうしたものは、人間が生きるためにぎりぎり必要な土台です。発展は、これらをつくることの味方でなくてはならない。なぜなら、幸せこそがもっとも大切な宝だからです。人類が幸福であってこそ、よりよい生活ができるのです。わたしたちがよりよい生活をするために戦うとき、これを覚えておか

今日の料理

